

令和7年度 出前講座一覧<川・下水道>

No	講座名・講座内容	講師所属・役職	講師名	講座時間	講座対象									出前範囲	WEB対応	ご準備いただきたい機材
					小学生 低学年	小学生 中学年	小学生 高学年	中学生	高校生	大学生	社会人	その他				
3	国総研の仕事 国土技術政策総合研究所(国総研)では、社会や経済活動、国民の生活を支える基盤となる施設や設備(上下水道、河川、道路、建築・住宅等)であるインフラ(インフラストラクチャー)に関する研究を行っています。インフラにはどのような役割があり、どのような研究を行っているかを紹介します。キャリア学習として、他の研究所などと連携した紹介も可能です。	企画部 主任研究官	濱田 悠貴 長屋 和宏	45～50分(ご要望に応じて調整します)	○	○	○	○	○	○			全国	○	パソコン用プロジェクタ	
5	まちを浸水から守るには一下水道の役割 下水道は家庭や工場から排出された下水をきれいに処理するだけでなく、まちを浸水から守る役割を果たしています。さまざまな事例を紹介しながら、まちを浸水から守るにはどうしたらよいか意見交換をします。	下水道研究部 下水道研究室 室長	安田 将広	45分～60分			○	○	○	○	○		全国		パソコン用プロジェクタ	
		下水道研究部 下水道研究室 主任研究官	松浦 達郎													
6	下水がきれいになるまで ～下水処理の仕組みと役割～ 下水道は、家庭から出る排水などを処理するだけでなく、洪水の防止、川や湖の水質保全、都市の水循環などで重要な役割を果たしています。本講座では、下水がきれいになる仕組みをわかりやすく解説します。	下水道研究部 下水処理研究室 室長	重村 浩之										全国		パソコン用プロジェクタ	
		下水道研究部 下水処理研究室 主任研究官	太田 太一													
		下水道研究部 下水処理研究室 主任研究官	平出 亮輔													
		下水道研究部 下水処理研究室 主任研究官	清水 雅弘													
7	どこでも飲める水道水ー浄水処理の仕組み 我が国は、蛇口から出る水道水をそのまま飲むことができる、世界でも数少ない国の一つです。本講座では、河川水などの汚れた水を、飲める水にまできれいにする浄水処理の仕組みを紹介します。	上下水道研究部 浄水処理研究室 室長	島崎大										全国		パソコン用プロジェクタ	
		上下水道研究部 浄水処理研究室 主任研究官	三好太郎													
		上下水道研究部 浄水処理研究室 研究官	門屋俊祐													
8	デジタルツインで流域治水を進化させる！ 最新のDX技術を活用した洪水予測の高度化や、わかりやすい洪水リスクの伝え方、流域治水を支援するための取り組みを紹介します。また、サイバー空間で河川流域を再現し、実証実験を行うことができる「流域治水デジタルテストベッド」を紹介します。	河川研究部 水防災システム研究官	竹下 哲也	30分～90分									全国	○	パソコン用プロジェクタまたは大型モニター(できればHDMI接続)	
		河川研究部 水循環研究室長	山本 陽子													
		河川研究部 水循環研究室 主任研究官	諸岡 良優													
		河川研究部 水循環研究室 研究官	小沢 嘉奈子													
9	海岸を守る技術 わが国の海岸には、侵食の激化、高潮・津波災害の恐れなどから、依然として防護が必要な箇所が多数あり、その対策が必要とされています。一方、海岸は生物にとっても貴重な場であり、環境と調和した海岸保全が求められています。本講座では、海岸の現状とともに、侵食や高潮、津波などに対する海岸の保全技術や衛星画像を用いた海岸線のモニタリングについて紹介します。	河川研究部 海岸研究室 室長	柴田 亮	60分程度									全国	○	パソコン用プロジェクタ	
		河川研究部 海岸研究室 主任研究官	姫野 一樹													
		河川研究部 海岸研究室 主任研究官	浜口 耕平													
10	ダム の役割 山の中に佇む巨大な構造物、ダム。ダムは、洪水の調節や、水道水の供給等で重要な役割を果たしています。本講座では、ダム型式、機能や活用等の基本情報の他、どのようにダムを維持管理しているか等のダムの内側をわかりやすく解説します。	河川研究部 大規模河川構造部研究室 室長	櫻井 寿之	30分									全国	○	パソコン用プロジェクタ	
		河川研究部 大規模河川構造部研究室 主任研究官	金縄 健一													

No	講座名・講座内容	講師所属・役職	講師名	講座時間	講座対象								出前範囲	WEB対応	ご準備いただきたい機材			
					小学生 低学年	小学生 中学年	小学生 高学年	中学生	高校生	大学生	社会人	その他						
36	<p>まちなかの各種パブリックスペース・モビリティの役割と有機的連携によるエリア価値向上の可能性 ～地域資源を活かしたライフスタイル提案型のアーバンデザイン～</p> <p>まちなかの街路、広場、公園、河川、公共空地等のパブリックスペースは、誰に対しても開放された空間であり、人々の生活動線、多様な活動の拠点、周辺の土地利用促進、日々の営みの中での都市文化・地域性の醸成への貢献など、滞在者にとって重要な役割を担っています。また、まちなかのモビリティも重要で、近年はBRTやグリーンズローモビリティなど、様々な地域の資源や人々を繋ぐ新たな公共交通が普及しつつあります。それぞれの施設・機能の特性と、近年の全国における官民連携による空間再編プロジェクトの動きをふまえつつ、物理面、活動面、心理・社会面等からみた具体の役割を紹介するとともに、今後の効果的なまちづくりの展開として、有機的連携効果の活用方策と、継続的な実施による波及・相乗、そしてエリア価値向上への展開可能性について紹介します。</p>	都市研究部 都市施設研究室 主任研究官	小笠原 裕光		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全国	○	パソコン用プロジェクタ
42	<p>BIM/CIM原則適用による3次元データの利活用</p> <p>本講座では、令和5年度からBIM/CIM(Building/Construction Information Modeling, Management)の原則適用に従い、国土交通省が取り組んでいる3次元モデル成果物の作成方法の明確化やBIM/CIM活用業務・活用工事に関する効果について、事例や動画・デモを交えながらわかりやすく説明します。 更に、令和6年度までに策定、改定された直轄土木業務・工事における BIM/CIM 適用において実施又は参照する基準・要領等についても、解説します。</p>	社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室 主任研究官	鈴木 淳史	約1時間							○	○	○	○	○	全国	○	パソコン用プロジェクタ